

ラジオ放送聴取等の実態に関する
調査研究報告書
＜概要＞

令和 8 年 3 月
総務省放送施設整備促進課

調査概要

調査は株式会社三菱総合研究所が総務省の請負事業(調査期間:令和7年11月～令和8年3月)として実施。

ラジオ放送について、地形的・地理的要因、外国波混信、電子機器の普及や建物の堅牢化等により、難聴が増加していることから、FM補完中継局の制度整備を行い、受信環境の改善等を図っているところである。
AM放送からFM放送への転換等が行われる場合、FM補完放送(ワイドFM)(※)対応の受信機の普及が課題となっている。そこで、ワイドFMの聴取実態等について調査・分析を行うことにより、今後のワイドFMへの対応策及び普及方策に関する検討を目的とする。

(※)AM放送の番組を、FM放送の周波数帯を利用して放送する仕組み

調査対象	調査方法
① 住民	インターネット調査
○各都道府県で200名ずつ抽出。(計9,400名) ※男女同数となるよう各年代(10代～70代以上の10歳刻み)において30名ずつ抽出。10歳代は15歳以上20名。 ○住民基本台帳の全国の人口分布(2025年)に合わせ、 都道府県×年代×性別を用いたウエイトバック集計を実施。(N=9,400)	
② 業界団体・メーカー	質問紙調査
○主要なラジオ製造メーカー及び自動車メーカー(乗用車(輸入車含む)、トラック・バス、タクシー等)に対し、 ワイドFMに対応した受信機の普及状況調査を実施。	
調査内容	
① ラジオ聴取者の傾向(プロフィール)	○生活意識/趣味・趣向/日頃行っていること
② ラジオ放送の聴取実態	○AM・FM・インターネットラジオの聴取目的/聴取状況/認知度
③ FM補完放送(ワイドFM)の聴取実態	○認知度/理解度/聴取状況/受信機・ラジオ等の普及率
④ ラジオ放送に関する普及方策の検討	○AM停波時の影響や今後の普及方策等

(全体 N= 9,400)

聴取者の定義

分類	定義	数(全体に対する割合)
○ ラジオ放送接触者	媒体・頻度問わず、ラジオを聴いている者	4,601(49.0%)
○ ラジオ聴取者	媒体問わず、月に1日以上、ラジオを聴いている者	3,405(36.2%)
○ AMリスナー	媒体問わず、月に1日以上、AMラジオを聴いている者 ※月に1日以上、ワイドFMを聴いている者を含む	2,759(29.4%)
○ FMリスナー	媒体問わず、月に1日以上、FMラジオを聴いている者	2,785(29.6%)
○ ネットリスナー	月に1日以上、インターネットラジオを聴いている者 ※ダウンロードpodcast含む	1,776(18.9%)
○ ワイドFMリスナー	月に1日以上、ワイドFMを聴いている者	1,312(14.0%)
○ AMのみリスナー	[AMリスナー]または[ワイドFMリスナー]であるが [FMリスナー]ではない者	344(3.7%)

聴取者タイプ別の傾向

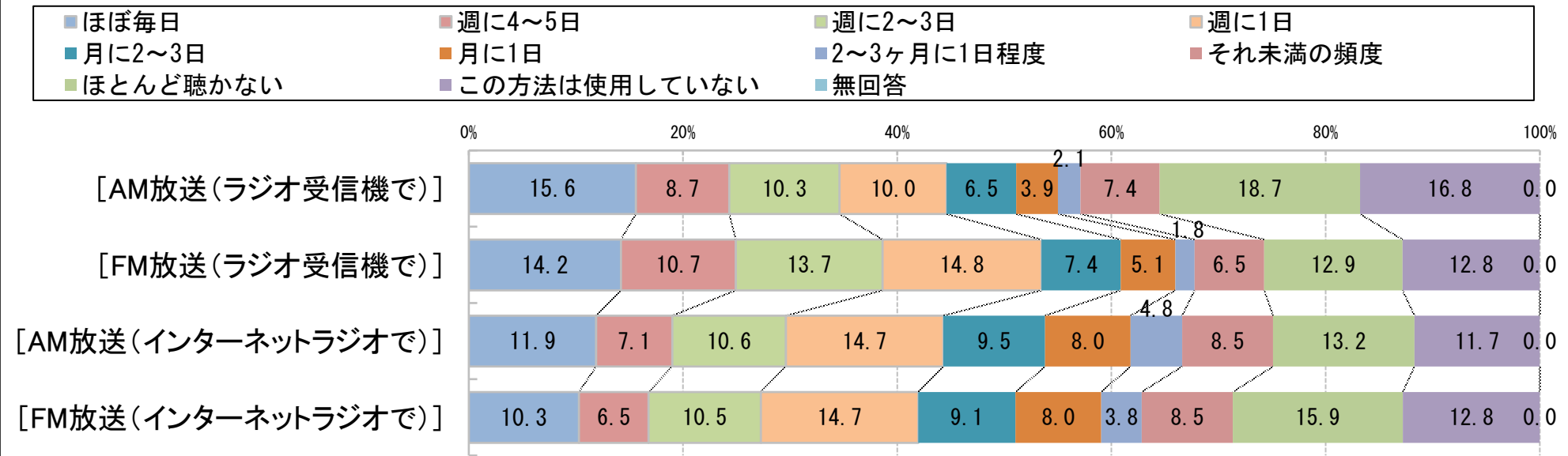
(全体 N=9,400)

- ✓ ラジオ聴取者は調査対象全体の36.2%。年齢層は、男性・女性ともに50代、60代、70代以上の割合が高く、ラジオ聴取者の過半数を占め、いずれの聴取者タイプでも同様の傾向である。
- ✓ 聴取機器は、カーオーディオ、スマートフォンの利用が高く、自宅や自動車乗車中の聴取が多い。
- ✓ 聴取時間帯は、朝から夜までコンスタントに聴かれている。ネットリスナーは、夜間の聴取も多い。
- ✓ 全体的に、ながら利用や習慣としてラジオを聴取している傾向にある。ネットリスナーは、加えて好きな番組を聴くことを目的にしている傾向にある。

分類	ラジオ聴取者	AMリスナー	FMリスナー	ネットリスナー
比率	36.2%	29.4%	29.6%	18.9%
性別・年代	・高齢層＞若年層 ・男性70代以上＞女性70代以上＞男性50代	・高齢層の割合が特に高い(FMリスナーは、AMリスナーに比べて40代、50代の割合が高い) ・男性70代が特に多い		・男性40代以下の層が比較的多い
職業	・会社員(系統問わず)＞無職＞専業主婦(主夫)			・会社員(系統問わず)＞無職＞パート・アルバイト ・学生の比率が比較的大きく、専業主婦(主夫)の比率は比較的低い
聴取機器	・カーオーディオ・カーナビ＞スマートフォン及び電子端末のアプリ＞据え置き型ラジオ			・スマートフォン(アプリ)＞カーオーディオ・カーナビ＞据え置き型ラジオ
場所	・自宅＞自動車乗車中＞通勤・通学の時間			
時間	・朝から夜までコンスタントに聴かれている			・夜及び深夜の聴取が相対的に多い
目的	・ながら利用/習慣として			・好きな番組を聴く
趣味	・国内旅行/ショッピング/日帰りの行楽 ・SNS、ネット閲覧、動画視聴			

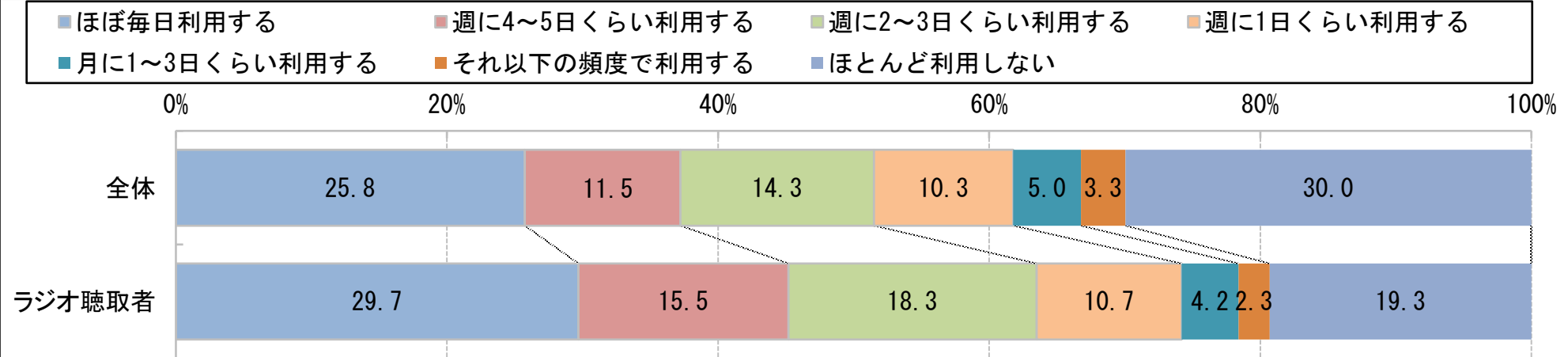
ラジオ聴取者の媒体別ラジオ接触頻度

(ラジオ聴取者 N=3,405、インターネット聴取者 N=2,163)



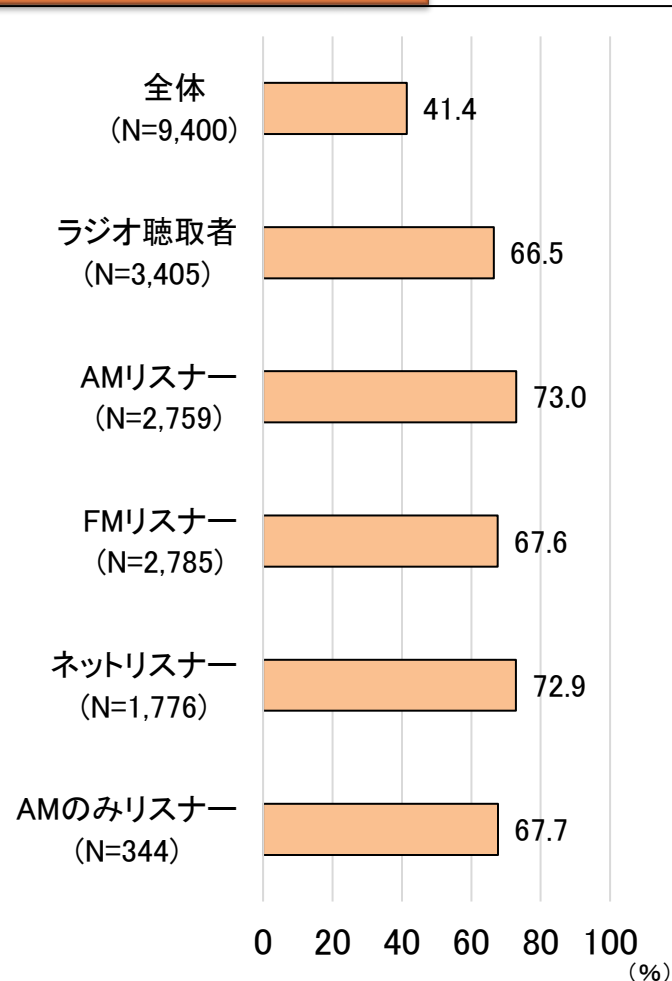
ラジオ聴取者の自動車利用状況

(全体 N=9,400、ラジオ聴取者 N=3,405)



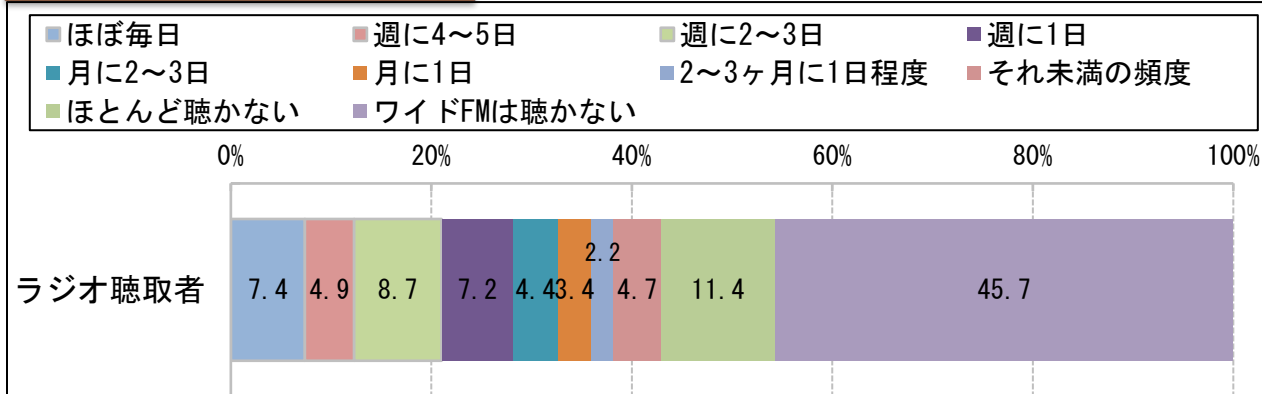
- ✓ ワイドFMの認知度は全体の41.4%。ラジオ聴取者の中では66.5%。昨年度の調査結果(※)では、全体は27.4%、ラジオ聴取者では52.2%であり、認知度は向上している傾向にある。
- ✓ 月1日以上ワイドFMを聴取する割合は、ラジオ聴取者の36.0%と、定期的な聴取層は多くはない。
- ✓ 聴取した印象としては、「音質がいい」「雑音が少ない」といった、音質に関わる点が認識されている。

ワイドFMの認知度



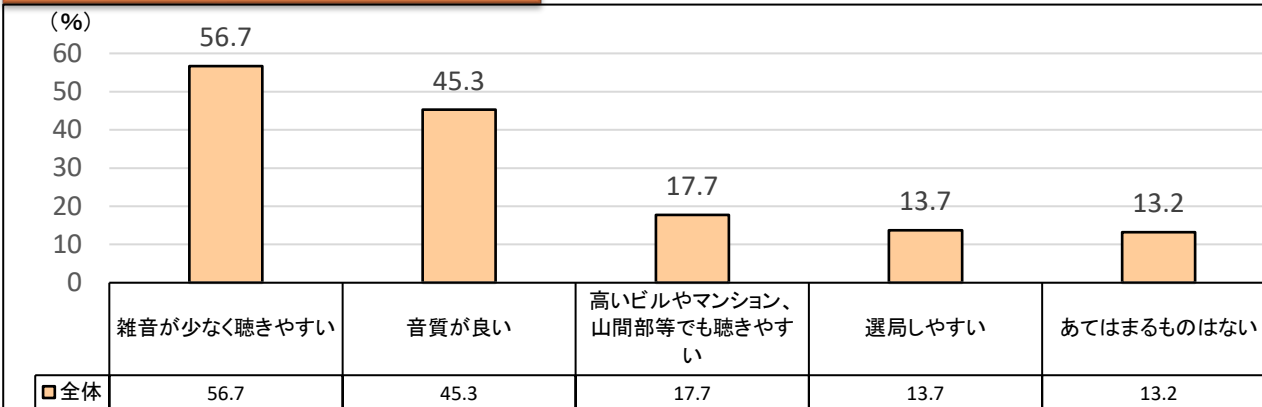
ワイドFMの聴取頻度

(ラジオ聴取者 N= 3,405)



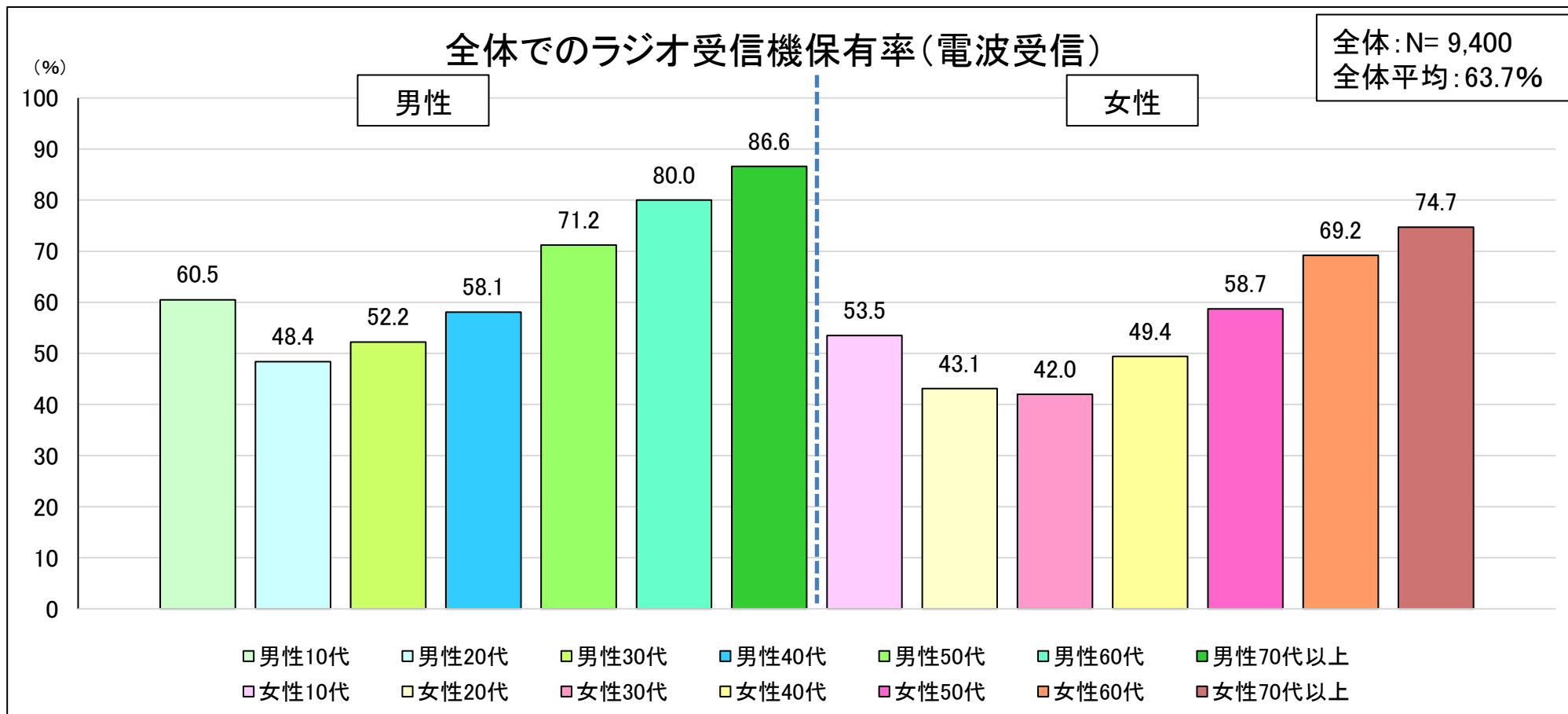
ワイドFMを聴取した印象

(ワイドFM聴取者 N= 1,754)



ラジオ受信機保有率

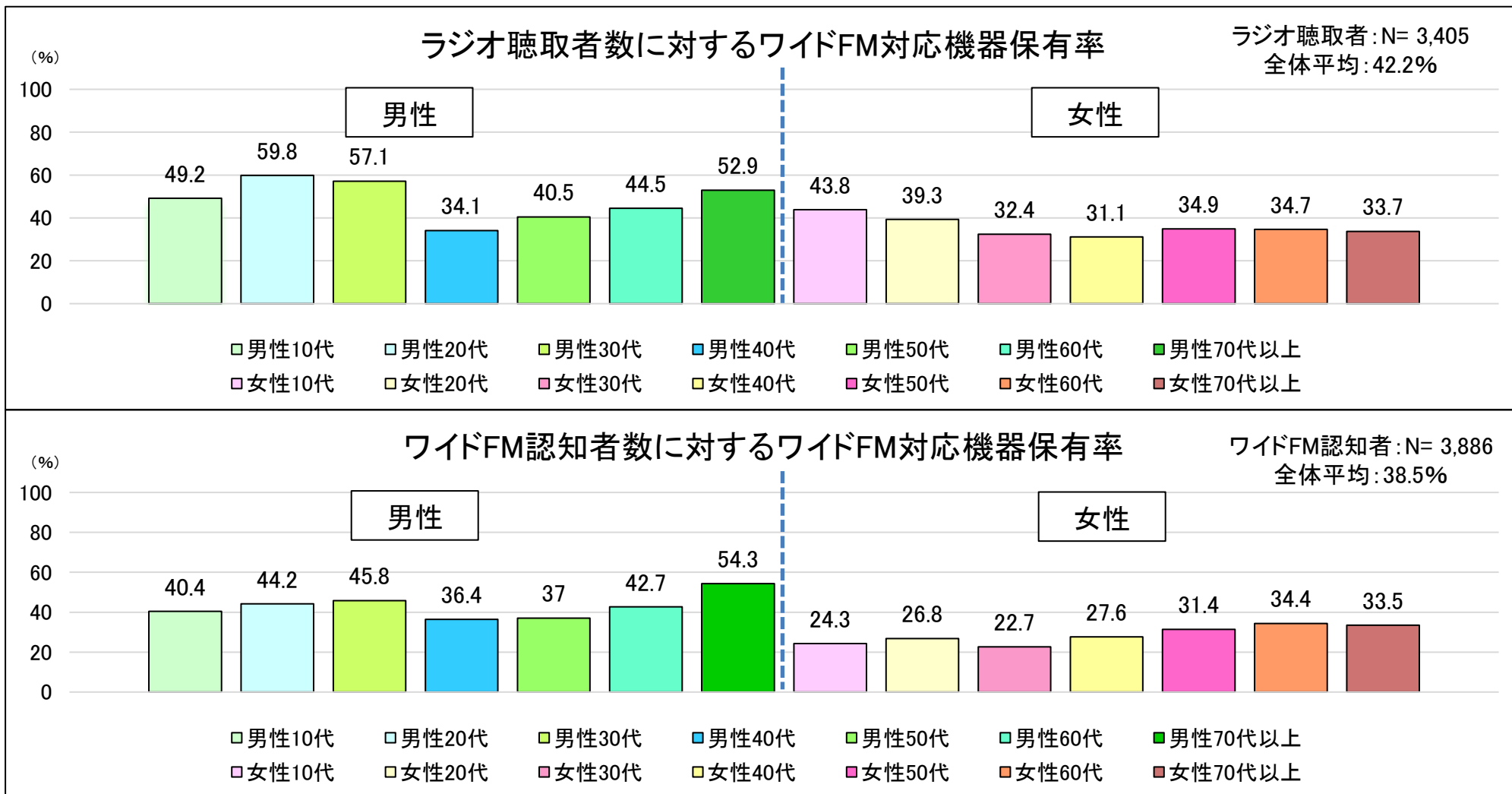
- ✓ ラジオ受信機の保有率は全体で63.7%で、年代が上がるにつれ、保有率が高まる傾向がみられる。
- ✓ 各層において、女性の方が男性より保有率が低い傾向にある。



※ラジオ受信機保有率(電波受信)にインターネットから聴取するものは含まない。

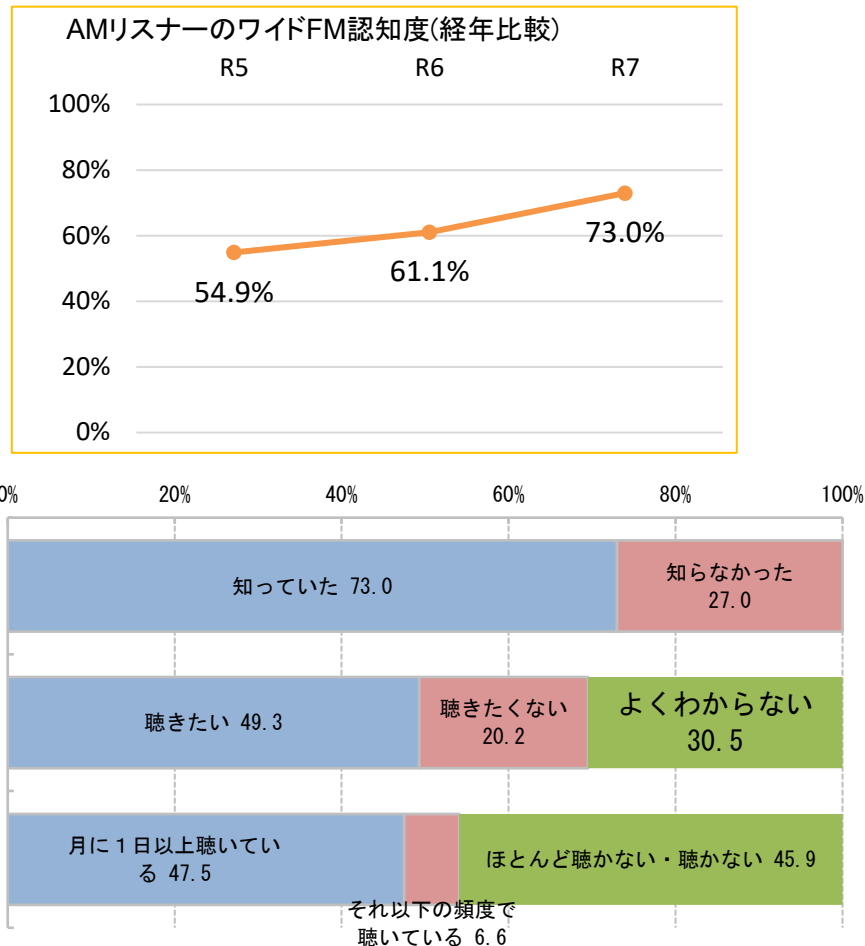
ワイドFM対応機器保有率

- ✓ ラジオ聴取者のうち42.2%、ワイドFM認知者のうち38.5%が対応機器を保有している。
- ✓ ワイドFMの認知と機器保有の間には乖離がみられ、認知が必ずしも機器保有に結びついていない状況が伺える。

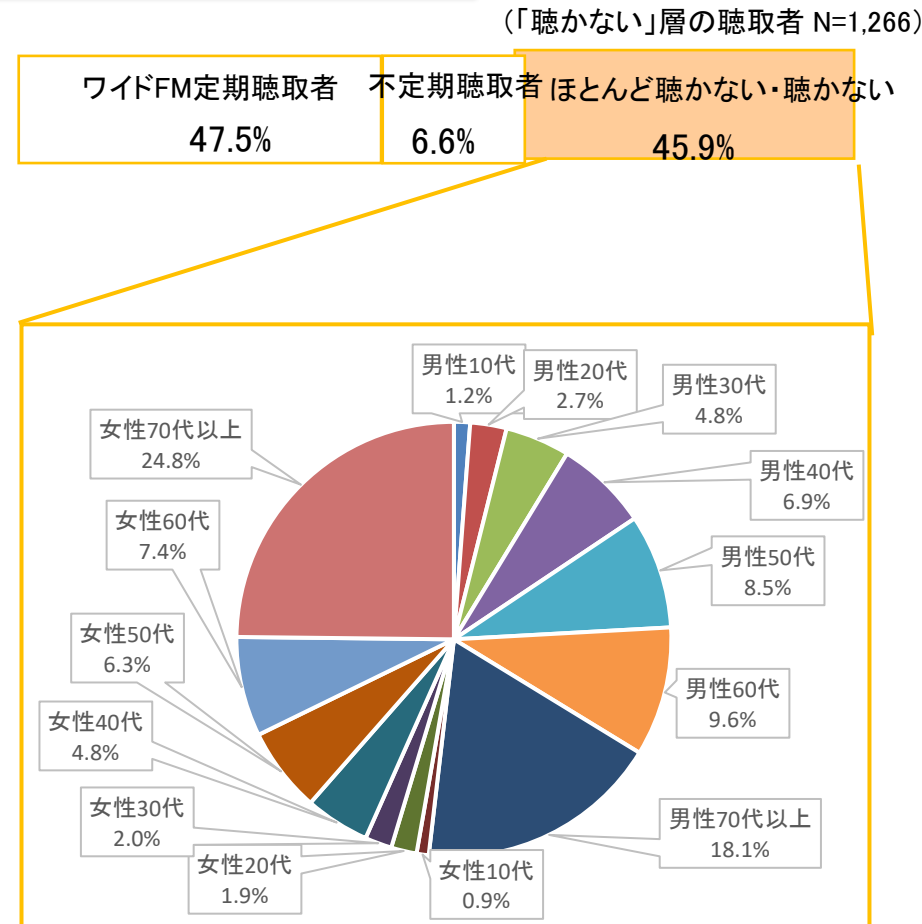


- ✓ AMリスナーのワイドFM認知度は73.0%に上り、一昨年度から徐々に（R5:54.9%、R6:61.1%）増加傾向にある。
- ✓ AMリスナーの中でワイドFMについて「ほとんど聴かない・聴かない」という層は、昨年度の結果（52.9%）（※）から45.9%に減少した。「ほとんど聴かない・聴かない」層の約7割は男女50代以上が占めている。

ワイドFMの認知



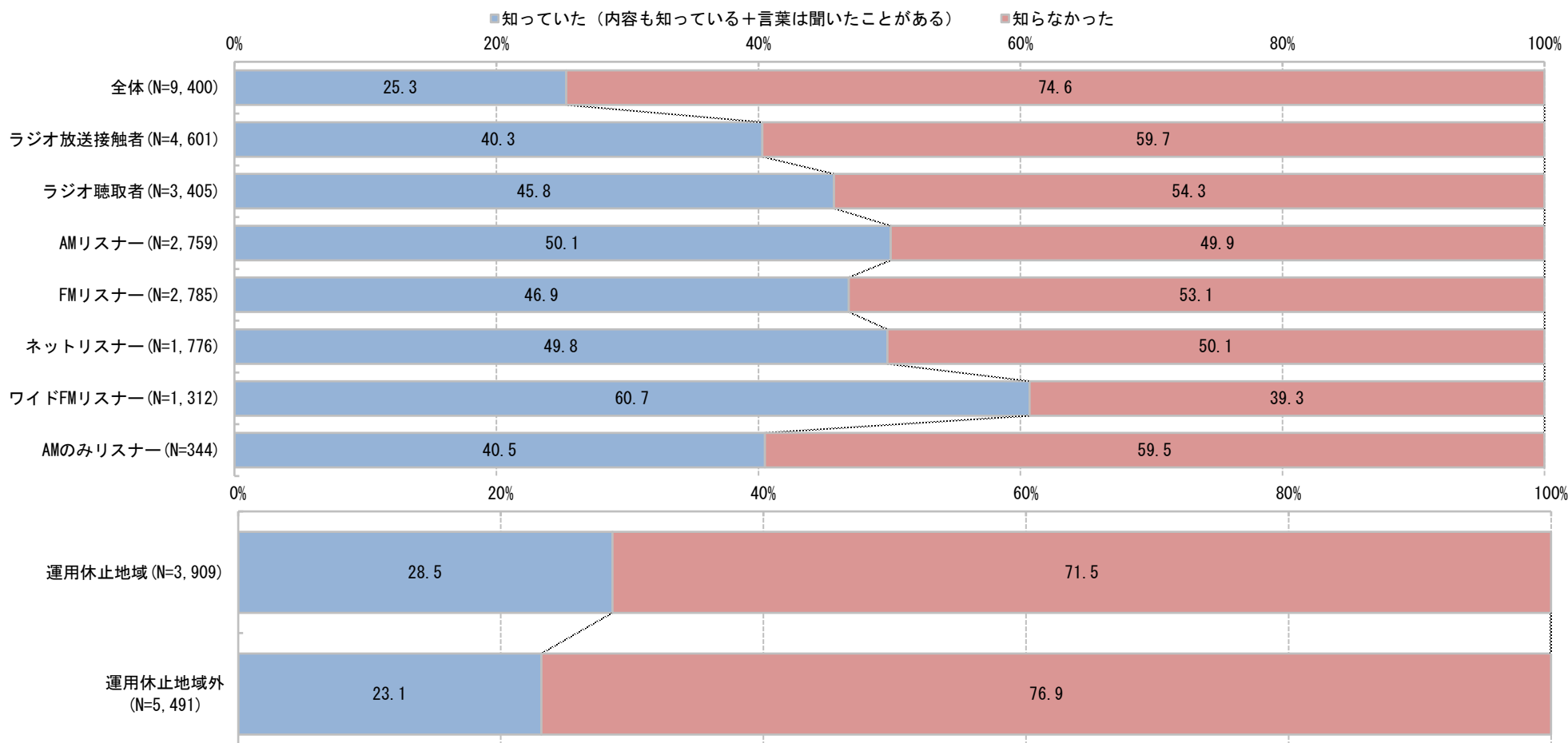
ワイドFMの聴取状況



FM転換の認知度

- ✓ FM転換(※)について、全体では74.6%が「知らなかった」と回答した。
- ✓ 聴取者タイプ別に見ると、ワイドFMリスナーが「知らなかった」割合が最も低く、39.3%であった。AMリスナーは約半数が認知している結果となった。
- ✓ 「AM局の運用休止に係る特例措置」に基づき休止中のAM局を一部含む都道府県(以下「運用休止地域」という。)においては、FM転換の認知度は28.5%であり、それ以外の地域(23.1%)より若干上回る結果となった。

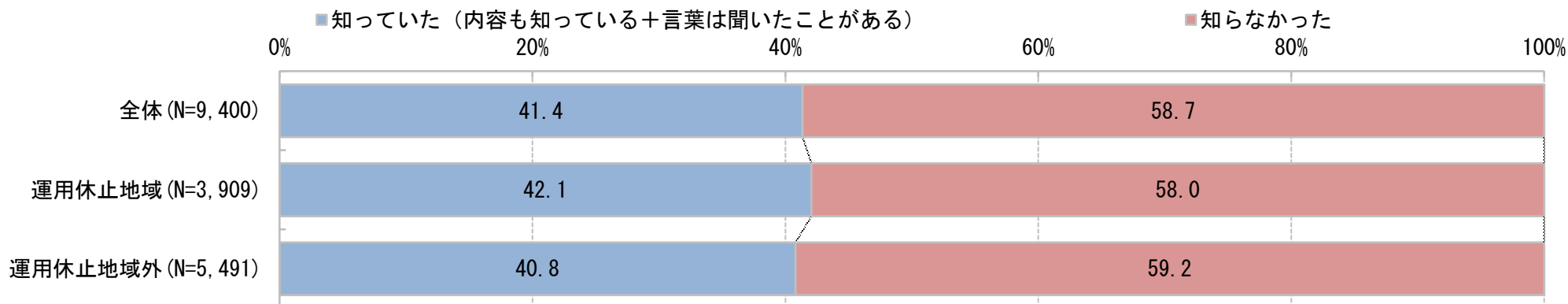
(※)一部の放送局において、将来的にAM放送をFM放送へ移行し、その後AM放送を停止する可能性があること



運用休止地域におけるワイドFMの認知度

- ✓ 運用休止地域におけるワイドFMの認知度は、42.1%であり、昨年度（30.6%）（※1）より向上しているが、それ以外の地域（40.8%）との間で大きな差はみられなかった。

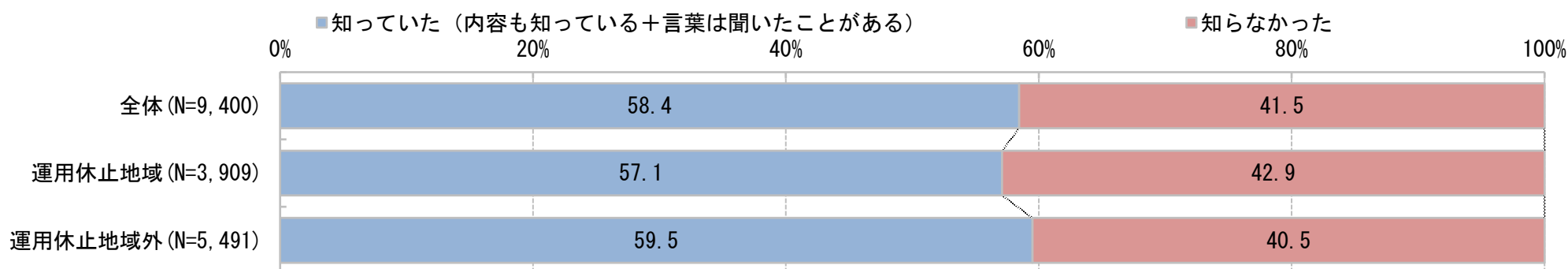
（※1）https://www.soumu.go.jp/main_content/001016562.pdf



運用休止地域におけるインターネットラジオの認知度

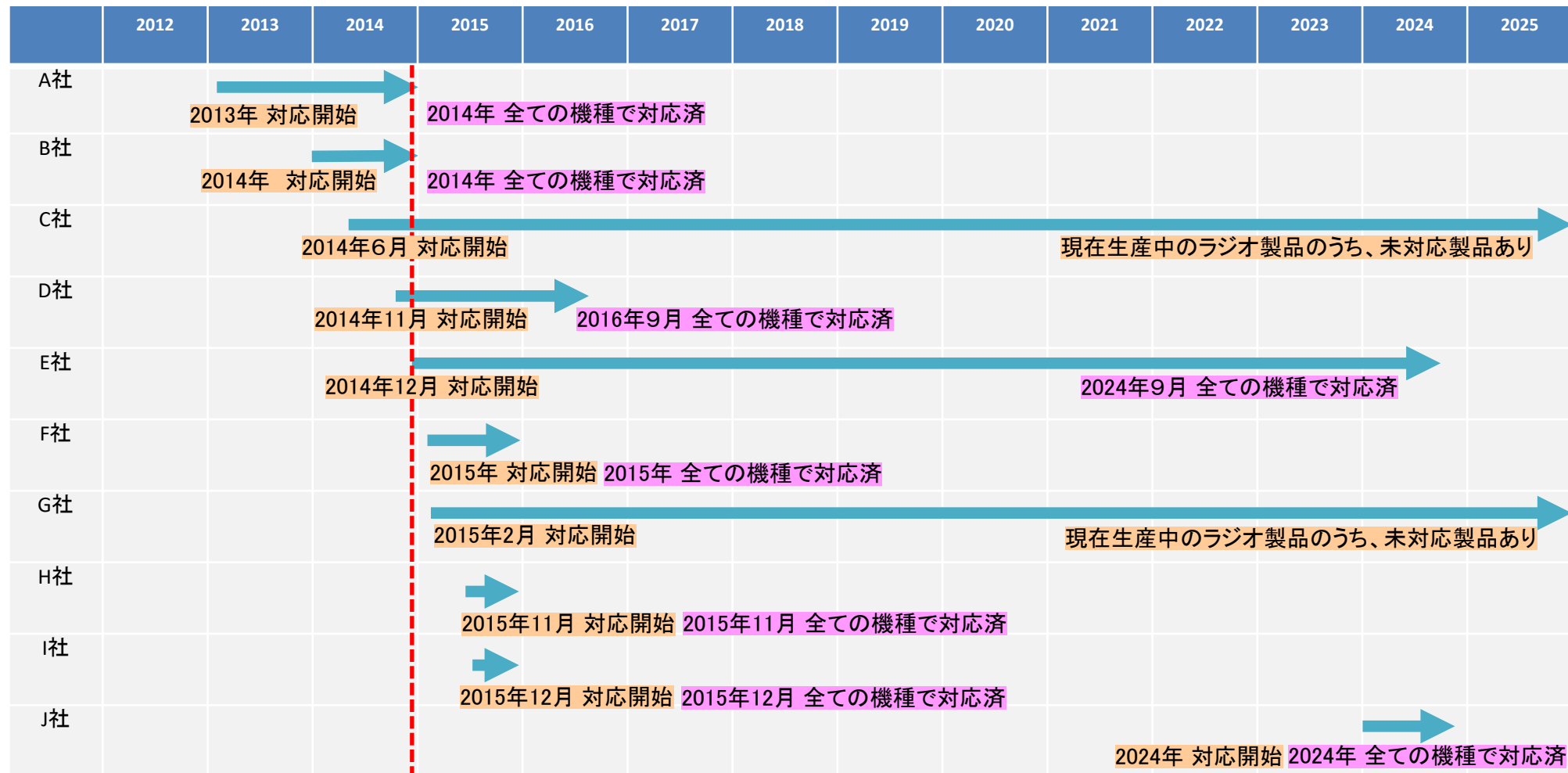
- ✓ 運用休止地域におけるインターネットラジオ（※2）の認知度は、57.1%であり、それ以外の地域（59.5%）との間で大きな差はみられなかった。

（※2）インターネット回線を通じてラジオ番組を聴くサービス



ワイドFM対応状況

- ✓ 多くのラジオメーカーは2014年前後からワイドFM対応を開始しており、2014～2016年頃には大半のメーカーで全機種ワイドFMへの対応が完了している。

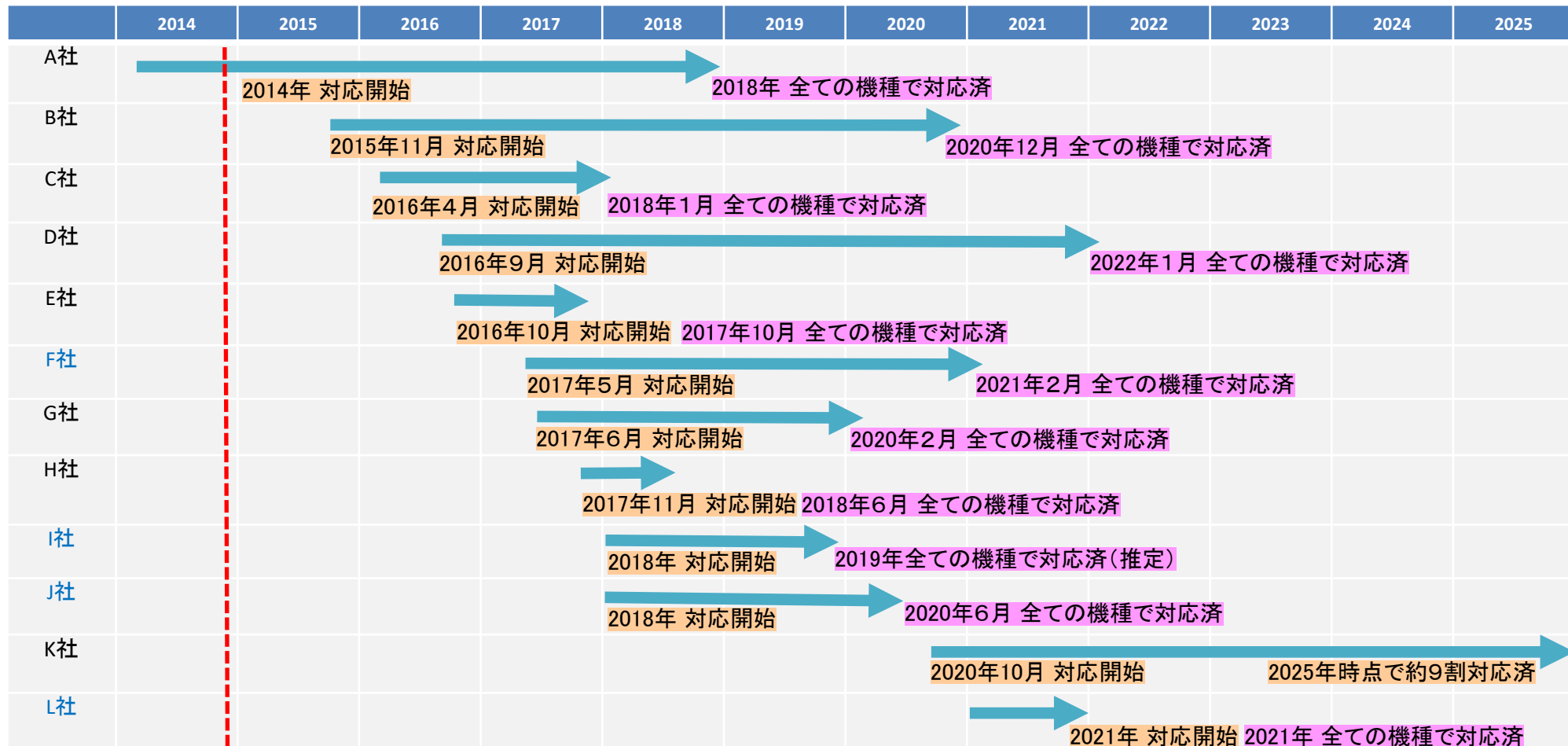


2014年12月
ワイドFM放送開始

ワイドFM対応状況

※標準装備時期を記載

- ✓ カーオーディオについて、概ね2016年頃からワイドFM対応が開始され、2020～2022年頃には自動車メーカーの多くで全車種対応が進んでいる。
- ✓ 海外自動車メーカーが日本で販売している乗用車のカーオーディオについても、2019年以降の生産から基本的にはワイドFM対応となっている。

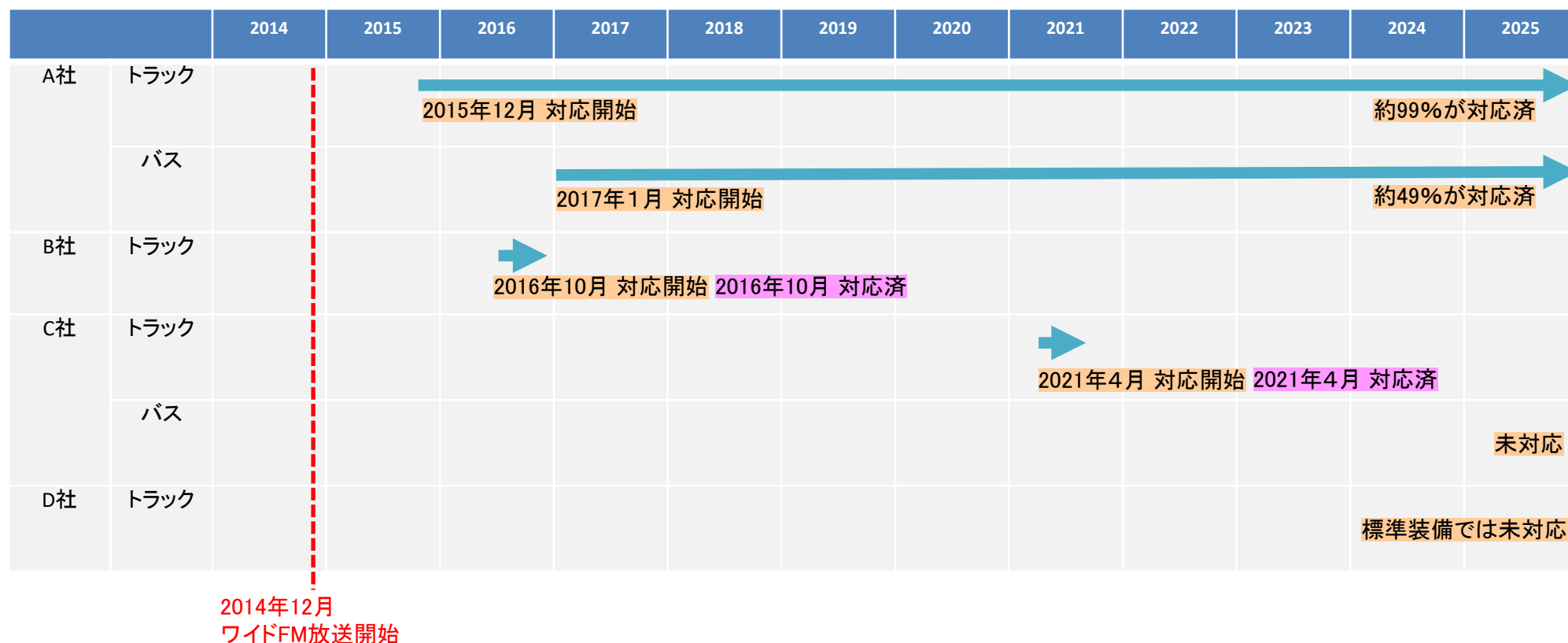


黒字：国内自動車メーカー
青字：海外自動車メーカー

2014年12月
ワイドFM放送開始

ワイドFM対応状況

- ✓ 国内自動車メーカーのカーオーディオについて、トラックは最も対応が早かったメーカーは2015年から対応開始している。標準装備では未対応で、オプション対応となっているメーカーもある。
- ✓ バスはワイドFM対応割合が比較的低い。



- ✓ 国内自動車メーカーのカーオーディオについて、農機では標準装備で対応を開始しているメーカーがあるが、完全な対応までは至っていない。
- ✓ タクシーについては、オプションで完全対応しているメーカーがある。

2014年12月
ワイドFM放送開始